

『ひとり旅』

私はこの夏、ある事を決意しました。それは、念願だった初のひとり旅決行です!!急に2日間続けてお休みができたので、それを活かして何かできないだろうかと思いつき、すぐさま本屋さんへ。数々の旅行雑誌を眺めながら行き先を決定しました。さらにその足で切符も購入。思い立ったが吉日とはこの事です。



決定した行き先は...仙台&松島。特にコレと言って理由はなかったんだけど、私、東北地方にはあまり行ったことがなかったから。あと、小さい頃テレビで見た「独眼竜正宗」という大河ドラマで、正宗を演じていた渡辺謙さんがあまりにも格好良く、夢にまで登場した(正宗が鎧を着た状態で私と一緒にエスカレーターに乗っていたという夢)事があったりして、なんか運命的な導きを感じたような気が...

新幹線はこれまで数え切れないほど乗っているけど、考えてみたら自分で切符を買ったこともなかった。飛行機のチェックインも、いつもだれかがやってくれた。仕事などで色んな土地に行ったことがあるのに、自分の足では歩かずいつもタクシー移動。22才の大人の女が、ほんとにこれでいいのか?!と、ある時突然思ったわけです。それに、私はひとりが好き。買い物も映画も、誰かと行くよりひとりで楽しみたい。友達と遊ぶのも楽しいけど、集団行動よりひとりで行動するのが得意な私にとって、きっとひとり旅はすごく向いているに違いないと、想像していました。

というわけで、はじめてひとりで切符を買い、はじめてひとりでホテルの予約をした今回の旅。買い込んだ仙台マニュアルを見ながら、仙台についてお勉強をしました。「ほほう、ずんだ餅は絶対に食べねば」「牛タンは絶対に食べねば」「笹かまぼこは絶対に買わねば」と知識を得ました。

そしてたった1泊旅行ではありますが、仙台市内と松島をめぐるオリジナルコースを計画し、期待に胸を膨らませるのでした。

「ひとり」って何?私の歌にも「ひとり」という言葉が多く登場する。寂しい響きのようでもあり、たくましさを感じさせるようでもあり、そんな強さも弱さも合わせ持つ言葉。

私はときどき本当に自分がひとりきりだと思って、とても悲しくなる事がある。それはたとえどんなに親しい人にも、踏み込めない領域があることを感じたときなどに。

だけど人間本当にひとりの時は、寂しささえ感じられないんだなと、この旅をした後で私は思うのでした。友達も知り合いもない土地に行くと、言葉は通じる場所でも外国みたいな気がする。みんな同じ顔に見えたり、どこを歩いているのかわからなくなったり。だけど迷ったり失敗したりしながら、ひたすらその街を歩きまわっていると、だんだん色んなものが見えてくる。そうすると、自然と会話が生まれ、友達ができ、思い出もできる。「寂しい」って気持ちがうまれるわけです。ああ、この土地を離れるのが寂しいなあとか、もう二度と会うことのない人と一緒にいるのかあとか。それまで、ひとりでズンズン歩いているときには寂しいなんて思わなかったのね。

自分以外の誰かの存在があってはじめて、人は寂しいことに気づくわけですね。本当にひとりだったら、寂しい気持ちを知らないままかもしれない。

さて、旅の途中の出来事は、またの機会に。ラジオの中などでもお話します。おたのしみに。

* maaya *

... THE ID